

一般財団法人 有本積善社 第 51 回番組審議会議事概要

- 1 開催年月日：令和 4 年 11 月 28 日（月）16：00～17：15
- 2 開催場所：京都府舞鶴市字円満寺 158-6 西市民プラザ 2 階 市民活動団体活動室
- 3 委員の出席：
委員総数：7 名 出席委員数：4 名
出席委員の氏名：水嶋純作、山内茂樹、今安博和、山下美晴、
欠席委員の氏名：尾関善之、松井恭子、楠崇智
放送事業者側出席者名：ジェネラルマネージャー 時岡浩二
技術チーフ 上田秀篤
制作チーフ 奥野あかり

4 議題

(1) 報告事項

- ① 9/11（日）、NHK ラジオ第 2 放送で「視覚障害ナビラジオ」が全国放送された。8/27（土）に FM まいづる→NHK 東京のスタジオをネットで結び収録したもの。出演者：「白い杖のかんちゃん」出演中の神田正嗣さんと堤隆志さん。
- ② 9/19（月）夕～深夜にかけ、台風 14 号舞鶴付近通過のため随時割込放送を実施した。
- ③ 9/23（金）、イブニングまいづる 530 内で歌手：渥美二郎の電話インタビューを放送（事前収録）
- ④ 10/12, 13（水、木）、城南中学の 2 年生 3 名を職場体験として受け入れた。ニュースの読み方の研修のほか、10/13 の「ななこちゃったラジオ」に生出演した。
- ⑤ 10/29, 30（土、日）、志摩機械（株）の創業 75 周年+1 記念祭会場から生中継放送した。
- ⑥ 11/2（水）10 時、11/16（水）11 時に Jアラート（全国瞬時警報システム）による自動起動割込放送（情報伝達訓練）が実施された。
- ⑦ 11/5（土）、高浜町若宮海水浴場で行われた「にほん海シアター」会場から生中継放送した。
- ⑧ 11/7（月）からポリテクカレッジからインターン生を約 1 ヶ月の予定で受入中
- ⑨ 11/10（木）、城南中学の 1 年生 4 名が「総合的な学習の時間：ふるさと学習」で来局、生徒のインタビューに答えたほか、当日の「ななこちゃったラジオ」に生出演した。
- ⑩ 11/12（土）、移転したトヨタカローラ京都舞鶴店（公文名）から生中継放送した。
- ⑪ 11/16（水）に新パーソナリティ候補 4 名に対する研修を開始した。約 1 ヶ月半の予定。
- ⑫ 11/20（日）、舞鶴市議会議員選挙投票速報を 21：00～23：15（終了まで）随時割込放送した。
- ⑬ 11/25（金）に南紀白浜で JCBA 近畿地区協議会があり、JCBA 放送賞の審査があった。FM まいづるが応募した作品で昨年 8/6 に放送した『ダイアログインザダーク』（昨年 8/19 の番組審議会での審査番組）が特別番組部門で最優秀賞を受賞した。

(2) 番組審議：

若浦中学校「服のチカラ」プロジェクト 2022 特番（29 分番組：10/13～29 に 10 回放送）

※ 若浦中学校 1 年 1 組生徒（26 人）が総合的な学習の時間に、ユニクロが行っている「難民の子供達に送る子供服を集めるプロジェクト」に参加を自らが決めた。はじめは学校周辺だけで集めることとしていたが、舞鶴市全域に広めるため学校側から局にプロジェクトの広報協力依頼があり、特番を組んだもの。内容は、局のインタビュアーの質問に生徒が答えるというもの。質問は収録時に初めてしたもので事前の打ち合わせはない。学校と FM まいづる前と西市民プラザ 1 階の 3 箇所

に段ボールの箱を置き 8,000 着以上の服を集めることができ大きな成果を上げた。収集活動自体に学校側は手を出さず、生徒が自主的に活動したものを。収集した服はユニクロを通じ現地に送られることになっている。

5 議事の概要

- ① 上記 (1) 項の報告内容を審議委員に説明。
- ② 上記 (2) 項の審議番組に対する意見を審議委員各位から聴取。

6 審議内容

【審議番組に対する委員の主な意見】

- ① 台本無し、打合せ無しというのにはびっくりした。生徒はインタビュアーの質問に的確に答えていた。子供の意識が高かったので教師側も動かされたのであろう。放送番組のコンテストに出せそうな内容だった。
- ② 子供というのはすごい。事前打合せ無くて上手に受け答えしていた。3箇所でも8,000着以上もよく集めた。ラジオを聴いていた人も多と思った。
- ③ 学校側も、生徒に色々な経験を自らさせるようになってきている。そういうことが大事で表現の場としてラジオが役立っているのはよい。
- ④ ここ数年、タブレット端末を使って生徒が自分で調べることが出来るようになってきている。それを掲示板にお知らせとして出すだけでなく、ラジオに出ることでプレゼンテーションの力がつくし、ラジオで情報を伝えることでプロジェクトに対するイメージが向上する。
- ⑤ 東日本大震災後の間もないときに舞鶴市内の有志が衣服を集めて、陸路東北まで行って現地に届けたが、とても8,000着には至らなかった。当時、FMまいづるが有ったらもっと集まっていたと思う。
- ⑥ こういうプロジェクトは先輩がやっていると、代々つづく。そこにツールとしてラジオが関わると若者を育てることになる。
- ⑦ 子供達は元気な声だったが、インタビュアーの声が少し小さかった。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

当審議会が出た意見を局内会議で議論した。現在、市内の別の中学校から別の企画が持ち込まれているので、その番組企画にも資することとした。
(令和4年12月1日)。

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ① 令和4年12月1日 この審議会議事概要を演奏所事務所に備置き、閲覧できるようにした。
- ② 令和4年12月1日 この審議会議事概要をホームページに掲載した。

9 その他の参考事項

FMまいづるの中継局の運用状況について局から説明をおこなった。

以上